

30. 無側枝性ギク「岩の白扇」の電照による切り花品質向上

福島県農業試験場いわき支場・平成11年度春夏作試験成績概要

1 部門名 花き－キク－生育調節

05－08－16000000

2 担当者 矢吹隆夫

3 要 旨

無側枝性ギク「岩の白扇」は、葉が丈夫で扱いやすい夏秋咲きの白い輪ギクであるが、草丈が短いまま開花する性質がある。このことから、切り花品質の向上をはかるため挿し芽時期と電照（終了時の草丈）が切り花品質に及ぼす影響について検討した。挿し芽は直挿しで、電照は摘心時（2本仕立て）から行い、深夜4時間（22:00～2:00）の暗期中断とし、照度50ルクス以上とした。

（1）3月下旬挿し芽では草丈40cmで電照を終了すると切り花の2L規格の割合が90%となり、草丈50cmで電照を終了した場合は2L規格の割合が100%となった。

（2）4月中旬挿し芽でも草丈50cmで電照を終了すると2L規格の割合が88%となり切り花品質が向上した。